(様式第３号)

SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

作成日：令和　3年　12月　14日　　企業・団体名：株式会社インフラマネジメント

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル 基本	取組レベル チャレンジ	具体的な取組（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	●		・あらゆる雇用条件で、差別しない体制を構築している ・外国人労働者に定期的に問題がないか確認し、相談しやすい環境づくりを行っている。				4.4	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7	
	2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	●		・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している ・加入している保険に付帯しているサービスのメンタルヘルスサポートを利用できる体制を整えている					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1	
	3	【ワークライフバランス】 ・男女が共に働きやすく、仕事と家庭の両立の推進などの職場環境づくりに積極的に取り組んでいる	●		・有給休暇が時間単位で取得できる ・男女問わず育児休暇が取得できる ・家族も参加できるレクレーションを取り入れている ・有給休暇の取得率向上を掲げ、休みやすい環境づくりを行っている ・在宅ワークが行える環境を整備している ・特別休暇制度を導入し、育児やボランティア活動に参加できる環境を整備している								8.5 8.8								
	4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別、人権侵害がないことを確認している	●		・外国人労働者も他の従業員と同等の待遇で雇用している ・食事会など交流ができる機会を設けている ・生活面でのサポートや相談しやすい体制を整えている				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3						
	5	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	●		・安全帯や反射ベストなどの安全対策の道具を一式支給している ・安全対策の講習会に参加している ・現場での安全管理について日々指導している			3					8								
	6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるための対策に取り組んでいる	●		・ストレスチェックを行い従業員のメンタルヘルスを把握するよう努めている ・メンタルヘルスについて相談できる保険に加入し、従業員にも周知している			3													
	7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が十分に活躍できる環境の整備や、誰もが利用しやすいサービスの提供などに取り組んでいる	●		・定年退職の年齢を引き上げを行い、70歳までの雇用が可能 ・多様な人材が活躍している状況をSNSで発信したり、社内通知で周知している					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						
	8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	●		・資格取得のための費用を支給している ・セミナーの積極的な参加を促し、参加をしやすい環境づくりを行っている				4	5.5			8	9							
	9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	●		・給与規程を策定し、同一労働同一賃金の環境が整備されている					5.5			8.5		10.2 10.3						
	10	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる		●	・健康診断を受けやすい環境を整えている ・有給休暇の取得を推奨し、時間単位で取得することができる ・協会けんぽの健康経営「高知家」プロジェクトに参加し、取り組みを進めている			3					8								
	11	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している		●	・テレワークが出来る体制を整えている ・ウェブ会議を推奨している ・対面で打ち合わせを行う場合は、常に換気がなされている ・Co2濃度計を設置し、環境をみえる化している			3					8	9.1		11	12				
	12	【デジタル化の推進】 ・労働生産性の向上を図るとともに、ウィズコロナ・アフターコロナ時代における社会・経済構造の変化に対応するため、デジタル化やオンライン化等を推進している		●	・ドローンなどICTを用いた業務の効率化を図っている ・社内書類のペーパーレス化を推奨しオンライン化を進めている								8	9.1		11	12				
環境	13	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	●		・事業所内で出るゴミは細かく分別している ・資源ごみはリサイクル業者にしてもらっている ・産業廃棄物はマニュフェストに沿って適切に処理している											11.6	12.4		14.1			
	14	【エネルギー】 ・電気やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	●		・事務所内の照明はLEDライトを使用して、電気の使用量を削減している ・電気の使用量を毎週チェックしており、従業員にも省エネを推奨している ・遠方の業務は、効率の良い工程を組み、ガソリンの使用量削減を徹底している							7.3						13				
	15	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	●		・事務所内の照明はLEDライトを使用して、電気の使用量を削減している ・排出ガス規制に対応した車両を導入している ・省エネの空調設備を導入している							7.2 7.3					12.4	13.3				
	16	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	●		・社内で使用している有害物質を把握し、適切な使用方法・処理方法について教育をしている			3.9			6.3					11.6	12.4					

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル		具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			基本	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	17	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないよう配慮している	●		・業務で使用する消耗品は、環境に配慮した製品を積極的に使用している ・現場での伐採を最小限に抑える努力をしている ・現場で出たコンクリート片などの産業廃棄物を適切な方法で廃棄している						6.6									15		
	18	【３Rの推進】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再利用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる	●		・グループウェアを使用し、ペーパーレス化を推進している ・裏紙を効率的に使用できるようにルールを決め廃棄する紙を削減している ・資源ごみは細かく分類し廃棄している												12.5		14.1			
	19	【カーボンニュートラルに向けた取組】 ・カーボンニュートラルの実現を目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2
	20	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めるとともに、高知県における水資源の質と量の保全に取り組んでいる		●							6.4 6.6											
	21	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格等を取得している		●				3.9			6	7					12	13.3	14	15		
	22	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している		●													12.6					
	23	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー効率の向上や、再生可能エネルギーの利用・供給に取り組んでいる		●	・事務所内の照明はLEDライトを使用して、電気の使用量を削減している ・電気の使用量を毎週チャックしており、従業員にも省エネを推奨している ・省エネの空調設備を導入している							7.2						13				
	24	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる		●	・排出ガス規制に対応した車両を導入している												12.2	13	14	15		
	25	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる		●		1	2				6.4						12.3 12.5		14	15		17
公正な事業慣行	26	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	●		・汚職・贈収賄を禁止する就業規則を定めている																16 16.5	
	27	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	●		・不正競争行為に関与しないように社員に周知している																16	
	28	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	●		・規定を策定し知的財産の保護に取り組んでいる								8.2 8.3	9								
	29	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	●		・共有フォルダの一部にアクセスの権限を付け、個人情報に関する書類の管理を適切に行っている ・個人情報等の取り扱いに関する規定を定めている																16	
	30	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している		●	・紛争鉱物は取り扱っていない																16	
	31	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる		●	・取引先と常にコミュニケーションを取り、人権侵害の防止や環境保護の取り組みを共有している					5			8		10		12	13	14	15	16	17
製品・サービス	32	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保する仕組みを構築している	●		・作業現場では「KY（危険・予知）活動」を徹底し、安全性を確保している ・社員の安全に関する知識を深めるため、講習の受講を促している ・ウィルス対策ソフトでPCの安全性を確保している			3.9									12.4					
	33	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	●		・提供前に正確な調査結果かどうか社内で確認を徹底し、より良いサービスを提供できるよう努めている ・顧客からの要望に対応するため、社内での体制を整えている									9								
	34	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）	●		・環境に配慮した紙を使用している ・排出ガス規制に対応した車両を導入している						6						12	13	14	15		

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル		具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			基本	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	35	【木質化の取組】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している		●							6.1 6.6	7				11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	36	【社会課題解決・サービス】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		●	・高齢化や人手不足の産業で活躍できるドローンに関するスクールを開校している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・地域貢献	37	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し、適切に対応している	●		・橋梁点検作業時、交通規制等、現場地域への影響を最小限にする努力をしている ・規制看板の設置等により、地域住民への配慮を徹底している				4					9		11	12		14	15		17
	38	【社会貢献活動】 ・寄付やボランティアなど、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる		●	・マスクの寄付などを積極的に行っている ・新型コロナの影響で活動が制限されているが、今後も取り組んでいく				4							11			14	15		17
	39	【地域資源の積極的利用】 ・高知県産の原材料を優先的に使用し、地産地消・地産外商に努めている		●									8	9		11	12					
組織体制	40	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透している	●		・法令順守の徹底を周知している ・コンプライアンス等に問題がないかを社労士等に確認してもらっている																16	
	41	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している	●		・経営理念を事務所に掲示している ・毎週の会議で、経営理念や経営目標を共有している								8	9								17
	42	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している	●		・担当部署として経営管理部を設置している																16	
	43	【利害関係者との対話】 ・利害関係者（ステークホルダー）※との対話により、自社の活動が利害関係者に及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		・クレームや要望に応えるため、取引先などのステークホルダーと常にコミュニケーションを取り適切な対応をしている																16	17
	44	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている		●	・銀行のコンプライアンス部門に長年従事した方を採用し、法令遵守の体制を整えている ・クラウド型運転管理サービス対応のドライブレコーダーを使用し管理することにより、危険運転の抑止に繋げている																16	
	45	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定・評価し、マネジメントするプロセスを整備している		●	・社用車はドライブレコーダーで速度違反等を管理し、レポートを社内で通知している ・事前に残業の申告をすることで、残業時間を把握・管理している																16	
	46	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき、企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる		●	・点検業務は地域の方の安全に関わる作業のため、コンプライアンスを遵守し責任を持った行動を徹底している																16	
	47	【災害や事故等への備え】 ・地震や水害等の自然災害、事故、新型感染症などに備え、事業継続計画（BCP）を策定するとともに、その実効性を上げるために訓練や見直しを行うなど、事業継続マネジメント（BCM）にも取り組んでいる		●	・災害に備え、BCPを策定している									9		11		13 13.1			16	
	48	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●									8	9								17
持続可能な社会・地方創生	49	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難計画の策定や事前防災対策を進めている	●		・災害に備え、BCPを策定している ・ハザードマップを確認し、避難場所等を把握している				4							11.5		13.1			16	
	50	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成し、地域消防団の活動に参加したり、地域の防災力向上の取り組みを進めている		●	・ドローン減災士講習の受講や防災士資格を取得している従業員が在籍してる。	1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	51	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている		●	・従業員全員が参加し、SDGsについての勉強会を開催している ・会社として個人として持続可能な取り組みについて考える機会を設けた	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	52	【産業人材の確保】 ・企業の成長戦略の実現に向け、UIターン就職の促進や若者の県内就職の促進などに関する取り組み、就職氷河期世代の就職支援に関する取り組みを実施している		●	・県の人材確保センターを通じ、UIターン人材の募集を行っている				4.4				8.5 8.6									17

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル		具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			基本	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	53	【中山間地域を意識した取組】 ・中山間地域の振興に寄与する取り組みを実施している		●									8	9		11						